

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	人間工学	必修	2年前期	15コマ・30時間	
担当教員	田中 繁	背景	1973年より障害者リハ現場にて研究、大学教授を兼任		
授業形態	講義	実務家教員 である			
受講ルール	共通ルール				
受講条件	特になし				
教科書等	自作のテキストを使用				
授業概要 各テーマの中に、実験的なことや演習的なことも含めて講義を進める。解剖学などのように記憶を中心とした授業に対して、この人間工学は因果関係を元に“考えてもらう”ことを中心とした講義とする。実験的なことに加えて、パソコンを利用したりして工学的な学問の一端を知ってもらう。 キーワード:工学、計測、評価、実験、パソコン					
狙いと到達目標 この講義では、人間工学の基礎について学ぶ。学生の学習目標は以下の通り。①人間工学とはどのような学問なのかを理解できるようにする、②人間工学とそれぞれの専門性との関係を知る、③人間工学で使われる基礎的手法(一部)を理解できるようにする。					
授業において実務経験をどのように生かすか 福祉・リハビリテーション現場の状況、あるいは福祉用具などと関連づけたテーマを取り上げ、それを介して工学的な論理展開などについても学べるようにする。					
授業計画・内容					
1	人間工学概要—1 人間工学の全体像、特に人間と環境の関係について				
2	人間工学概要—2 人間工学の全体像、特に人間工学を支える学問について				
3	作業研究—1 作業研究の概要、歴史など				
4	作業研究—2 作業研究の手法				
5	作業研究—3 サブリッグによる作業分析				
6	人体計測と統計—1 計測、測定の概要				
7	人体計測と統計—2 計測実験(人体と物体の長さ計測を実施)				
8	人体計測と統計—3 計測データの分析(パソコン使用)				
9	官能検査—1 官能検査の意味と実験				
10	官能検査—2 官能検査実験と分析				
11	官能検査—3 官能検査のまとめ				
12	バイオメカニクス—1 運動学とバイオメカニクス、人間工学における意味				
13	バイオメカニクス—2 ニュートン力学とバイオメカニクス				
14	バイオメカニクス—3 人体とバイオメカニクス				
15	まとめ				
評価方法	試験、授業態度により評価する。試験による評価では教授した内容に関する理解度を推定し、採点する。 試験7割で点数の通り。授業態度3割で、グループ活動などで判断する				
自由記述 (メッセージ)					

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	統計学		必修	3年前期	15コマ・30時間
担当教員	芳賀孝志	背景	企業研修及び専門学校講師の経歴		
授業形態	講義	実務家教員 である			
受講ルール	共通ルール				
受講条件	特になし				
教科書等	はじめての統計学 著者名: 鳥居 泰彦 (著) 出版社: 日本経済新聞社				
授業概要 統計学における基礎的な考え方、基本的な専門用語や概念の定義を学習する。					
狙いと到達目標 医療従事者に求められている、統計学の基礎知識と分析概念に関する基礎能力を習得し、関連文献等に含まれる統計情報の理解度を向上する。					
授業において実務経験をどのように生かすか 複数の企業での職務経歴や、様々な業種の顧客企業へのサービス提供における関連経験を基に、事例を活用しながら、生徒の理解を促進する。					
授業計画・内容					
1	オリエンテーション・統計学とは？	統計学の考え方の基礎・分析概念の説明			
2	統計学の概念の基礎	標本抽出・データの作り方の説明			
3	標本分布の特性値(1)	いろいろな形の分布・分布の特性値の説明			
4	標本分布の特性値(2)	分布の特性値の説明と応用の説明			
5	確率と確率分布(1)	確率・確率変数と確率分布の説明			
6	確率と確率分布(2)	二項分析・ポアソン分析の説明の			
7	一様分布と正規分布	一様分布と正規分布の説明			
8	標本平均の分布と母平均の推定(1)	統計的優位性・標本平均の分析の説明			
9	標本平均の分布と母平均の推定(2)	母平均の推定の説明			
10	t分布と母平均の推定	t分布と母平均の推定の説明			
11	カイ二乗分布と母標準偏差の推定	カイ二乗分布と母標準偏差の推定の説明			
12	仮説検定	仮説検定の説明			
13	相関分析	相関分析の説明			
14	回帰分析	回帰分析の説明			
15	テスト	評価			
評価方法	出席・試験・課題				
自由記述 (メッセージ)	統計学は、難解な勉強と恐れている人が多いと思います。しかし、わかりやすい入門から始めれば恐れる必要はありません。私たちの生活に関連した統計情報を題材として、身につけていきましょう。短期間での講義ですが、集中しながら、楽しくいっしょに学んでいきましょう。				

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	死生学		必修	3年前期	15コマ・30時間
担当教員	渡辺俊彦 他	背景	牧師、児童養護施設施設長		
授業形態	講義	実務家教員	である		
受講ルール	共通ルール				
受講条件	特になし				
教科書等	なし				
授業概要 学科の最終学年にあたり、それまでの作業療法士への学びで身に付けた様々な知識技術の蓄積に加えていのちの諸相を学ぶことで深みのある医療人になれる。この授業では担当講師による死生学の体系だった学びに加えてゲスト講師を入れる事で多くの側面から死生学を捉えて行く事とする。					
狙いと到達目標 人にとっての「生と死」の意味を死生学の観点からとらえるとともに、現代社会における「いのち」のあり方を多角的に考える。また、自らの死生観をつくとともに、医療・福祉での仕事に携わるうえで役立つ知識とマインドを習得する。					
授業において実務経験をどのように生かすか 牧師として、また児童養護施設の施設長としてそれらの実務を通して培った人間観、人生観を授業に生かす。また死を前にした本人、家族などの悲嘆に関わりながら身に付けてきた死生感も若い学生たちに理解できるように授業に生かして行く。更に専門学校講師として長く教育に携わってきた経験も授業の組み立てなどの点で生かす。					
授業計画・内容					
1	初回オリ、カルトなど		渡辺俊彦		
2	死生学総論		渡辺俊彦		
3	死生学総論		渡辺俊彦		
4	医療人間学の視点から(1)	和田 眞	大学名誉教授 理学博士 死生学研究者		
5	医療人間学の視点から(2)	和田 眞	大学名誉教授 理学博士 死生学研究者		
6	死生学総論		渡辺俊彦		
7	死生学総論		渡辺俊彦		
8	死生学総論		渡辺俊彦		
9	現役作業療法士の視点から(1)	田中将人	作業療法士(青梅慶友病院)		
10	現役作業療法士の視点から(2)	田中将人	作業療法士(青梅慶友病院)		
11	死生学総論		渡辺俊彦		
12	僧侶の視点で日本人の死生観にも触れながら	吉水岳彦	光照院 副住職 ひとさじの会		
13	ガン哲学外来メディカルカフェでプロの患者になりました	渡辺三修 ^{ミツノブ}	死生学研究者		
14	看護師が見つめる死と生(1)	白土智子	看護師		
15	看護師が見つめる死と生(2)	白土智子	看護師		
評価方法	課題提出、授業への参加度を総合的に判断する				
自由記述 (メッセージ)	この授業を通じて自分なりの死生感を育み、作業療法士としての仕事に携わる専門職としての人間的な幅を広げて欲しい。講師の提供する資料や参考図書に積極的に触れて欲しい。				